

# 子育て環境日本一への取組について



令和2年3月

京都府こども・青少年総合対策室

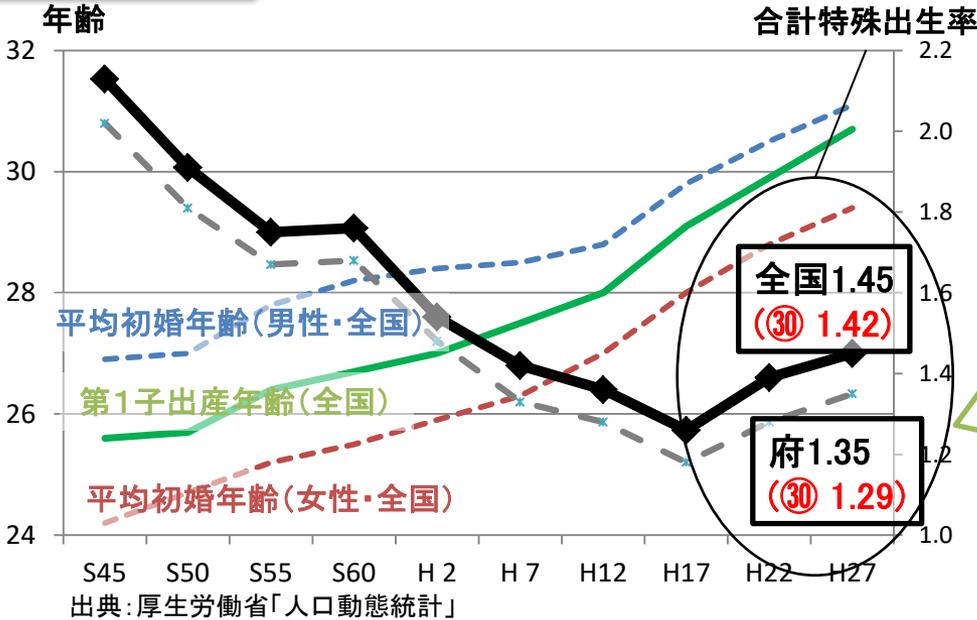
# 目次

- ・少子化の現状と子育て戦略
- ・子育て環境日本一推進戦略
- ・こども・青少年総合対策室の取組
- ・採用1年目の職員としての取組
- ・関連資料

# 少子化の現状と子育て戦略

- 京都府の合計特殊出生率は全国45位。若い世代の未婚化、晩婚・晩産化が進行
- 出会い・結婚から妊娠・出産、子育て、保育・教育、就労に至るまで総合的な対策を粘り強く講じ、社会全体で子育てを見守り支える、あたたかい子育て社会の実現を図る

## 少子化の現状



- ・合計特殊出生率は、有配偶率(結婚している女性の割合)と、有配偶出生率(結婚している女性が出産する子どもの数の割合)の2つの要因に分けられる。  
→京都府は、若い世代(25~39歳)の女性の未婚率が高い(府:43.0%、全国:38.5%)  
→有配偶出生率は全国平均並み
- ・女性の平均初婚年齢及び第1子出産年齢が年々上昇(晩婚・晩産化)

## 子育て戦略

若い世代の結婚の希望を叶え、安心して子どもを産み育てられるよう、

- 子育てにやさしい風土づくり    ■ 子育てしやすい安心・安全なまちづくり
- 若者が安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる雇用環境の創出
- 地域の絆・地域の子育て力の再構築

を総合的に推進!

令和元年9月に「京都府子育て環境日本一推進戦略」を策定



# 京都府子育て環境日本一推進戦略

- 出会い・結婚から妊娠・出産、子育て、保育・教育、就労に至るまで総合的な対策を粘り強く講じ、社会全体で子育てを見守り支える、あたたかい子育て社会の実現を図る

## 目指す将来像

子どもが社会の宝として、社会全体であたたかく見守られ、健やかに育ち、生き生きとした姿と明るい声が響きわたる社会の実現

(子育てにやさしい環境は、全ての世代にとっても暮らしやすい環境)

## 目指す社会像の実現に向けた4つの重点戦略

### 重点戦略1 子育てにやさしい風土に包まれた京都府社会の実現

行政や地域、企業、府民が一体となり、社会全体で子育てにやさしい府民運動を展開し、気運を醸成  
地域や企業、府民一人ひとりの子育てに対する意識や行動の変容を促進

### 重点戦略2 子育てしやすい安心・安全な街づくりの実現

子育てに適した住環境や、親子が集い、遊べる居場所づくり、交通事故等から守る子どもの安心・安全対策を進めるとともに、子育てニーズに対応する多様な幼児教育・保育等の整備などを推進

### 重点戦略3 若者が安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる雇用環境の創出

新たな子育てサポートビジネスの創出支援、企業等への働きかけや地場産業の創出支援など、あらゆる施策を組み合わせ、若者の早期離職・非正規雇用からの改善や、自らの働き方を実現できる就労環境の整備等を推進

### 重点戦略4 地域の絆・地域の子育て力の再構築

京都が持つ強みを活かし、互いに支え合う地域の絆を再構築する。助産師等の専門家や学校、子育て経験者など、地域の力を結集し、子育て家庭や配慮が必要な子どもを地域全体で支える仕組みを構築

# こども・青少年総合対策室の取組

子育て環境日本一の実現に向け、主に、出会い・結婚から妊娠・出産、子育て、保育、青少年活動に関する業務を担当しています。

また、子育て環境日本一の実現には、教育・就労・住宅など、他部局が所管する業務も密接に関わっていることから、全体的な調整業務も行っています。



# 出会い・結婚

結婚を希望する独身の方々の出会い・結婚を「きょうと婚活応援センター」を拠点としてワンストップ支援し、結婚に前向きに取り組める社会的機運を醸成

## 現状・課題

**結婚したいが  
出会う機会が少ない**

- 結婚の条件（京都府少子化要因実態調査）
  - ・結婚の必要性を感じる（35.8%）
  - ・自分の希望の条件を満たす相手にめぐりあう（39.8%）
  - ・交際相手と知り合う機会がある（37.2%）

## きょうと婚活応援センター

### 「北部スポット」

- ・府北部の方々の活動支援
- ・福知山を中心に月1～2回の出張相談会を開催

● **婚活セミナーの実施**（H30年度:26回開催）

● **ホームページでの情報提供**

（月平均15,000～20,000件のアクセス）

婚活の取組に対する  
アドバイス

情報提供

集客の支援

研修

情報交換

婚活マスター

出会いの場の提供

結婚を希望する  
独身の方々

イベント実施

婚活イベント  
実施団体

団体会員  
従業員の婚活を支援する  
企業・事業者

**4年間で約3,800組のカップルが成立！**



妊娠・  
出産

子育て

不妊治療に係る総合的な支援や周産期医療体制の強化、市町村と連携した妊娠・出産支援などにより、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進

現状・課題

- ①少子化、核家族化（自らの出産で、初めて赤ちゃんを抱く親が7割）、地域のつながりの希薄化（4人に1人は子育ての悩みを相談できる人がいない。）
- ②晩産化の進行により、不妊・不育治療助成や、きめ細かい相談体制の整備が必要



### ○不妊治療に係る総合的な支援

※出生数の9人に1人が不妊治療により妊娠

- ▶不妊治療に係る経済的負担の軽減（交通費助成、男性の不妊治療に係る支援の拡充等）
- ▶不妊に関する身体的・心理的相談、仕事と不妊治療の両立支援相談窓口を設置

### ○周産期の医療体制の強化

- ▶府立医科大学附属病院においてNICU（新生児集中治療室）を増床し、「総合周産期母子医療センター」に指定



### ○きょうと子育てピアサポートセンターを核としたオール京都体制での支援

- ▶市町村の子育て世代包括支援センターの設置・運営支援
- ▶不妊、妊娠・出産、子育てに関する情報提供

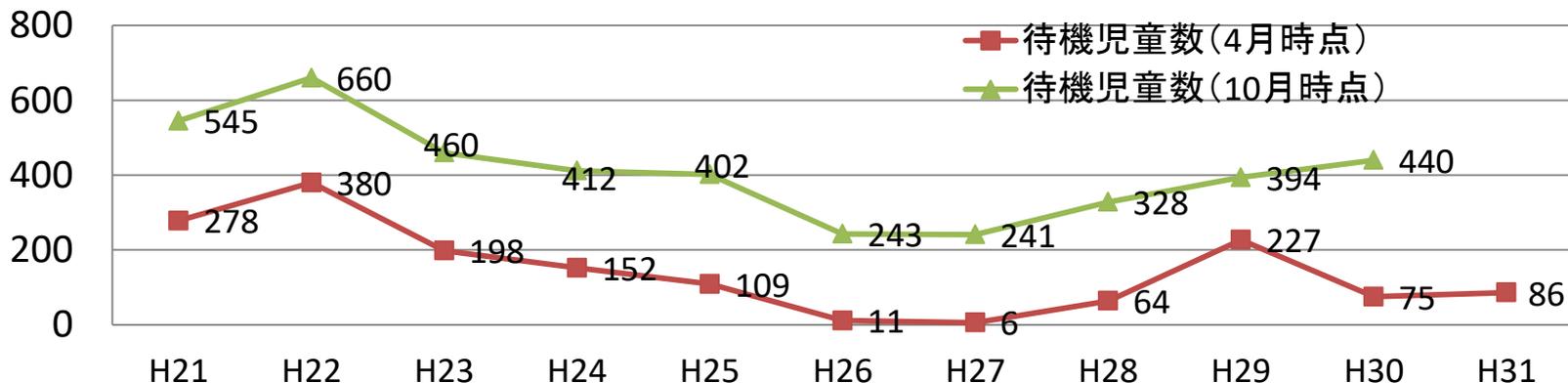
### ○産前・産後サポート事業、産後ケア事業、産婦健康診査の推進

- ▶産前・産後訪問支援員等の養成、赤ちゃん応援隊の創設（市町村）

# 子育て

待機児童ゼロに向けた保育環境等の整備、  
保育人材の確保を引き続き進めるとともに、  
子育て世帯の経済的負担を軽減する施策を継続的に実施

## 待機児童数の推移



## 主な子育て・保育・幼児教育対策

### ○ 保育環境等の整備

保育所・認定こども園・幼稚園の整備  
病児保育の施設整備や運営費の支援 など

### ○ 保育人材の確保・定着支援

京都府保育士・保育所マッチング支援センターの運営、  
保育士修学資金貸付、保育士の働き方改善アドバイザー派遣(新規) など

### ○ 経済的支援

保育所・幼稚園等における多子世帯への保育料の助成 など

# 採用1年目の職員としての取組

京都府・京都市・京都府保育協会・京都市保育園連盟の4者で構成された「京都保育の魅力発信キャンペーン実行委員会」で、保育人材の確保・定着に向けたさまざまな魅力発信事業を実施。

去年まで大学で保育の勉強をしており、保育の実習も経験した私が伝えたいこと...  
京都府で実現することができました。

実習に行って実際に感じた保育の専門性を伝えたい！  
保育士さんの思いに感動したことを伝えたい！  
「よし、「ドキュメンタリー動画」を作ろう！！」  
そんな思いを1年目の私でも形にすることができました。

自分の強みを仕事にできる、  
自分の思いを形にできる、  
自分の経験が必ず生きる、  
一緒に京都府でやりがいを見つけませんか？

<https://hoiku-job.kyoto/attractions/>



子育て環境日本一の実現に向け、  
京都府庁全体がワンチームとなって取組を進めていきます！  
あなたも一緒にトライしてみませんか？

子育て環境日本一

検索

毎月19日は『きょうと育児の日』



家庭の温かさや子育ての喜びを  
みんなで共有できる日にしてください

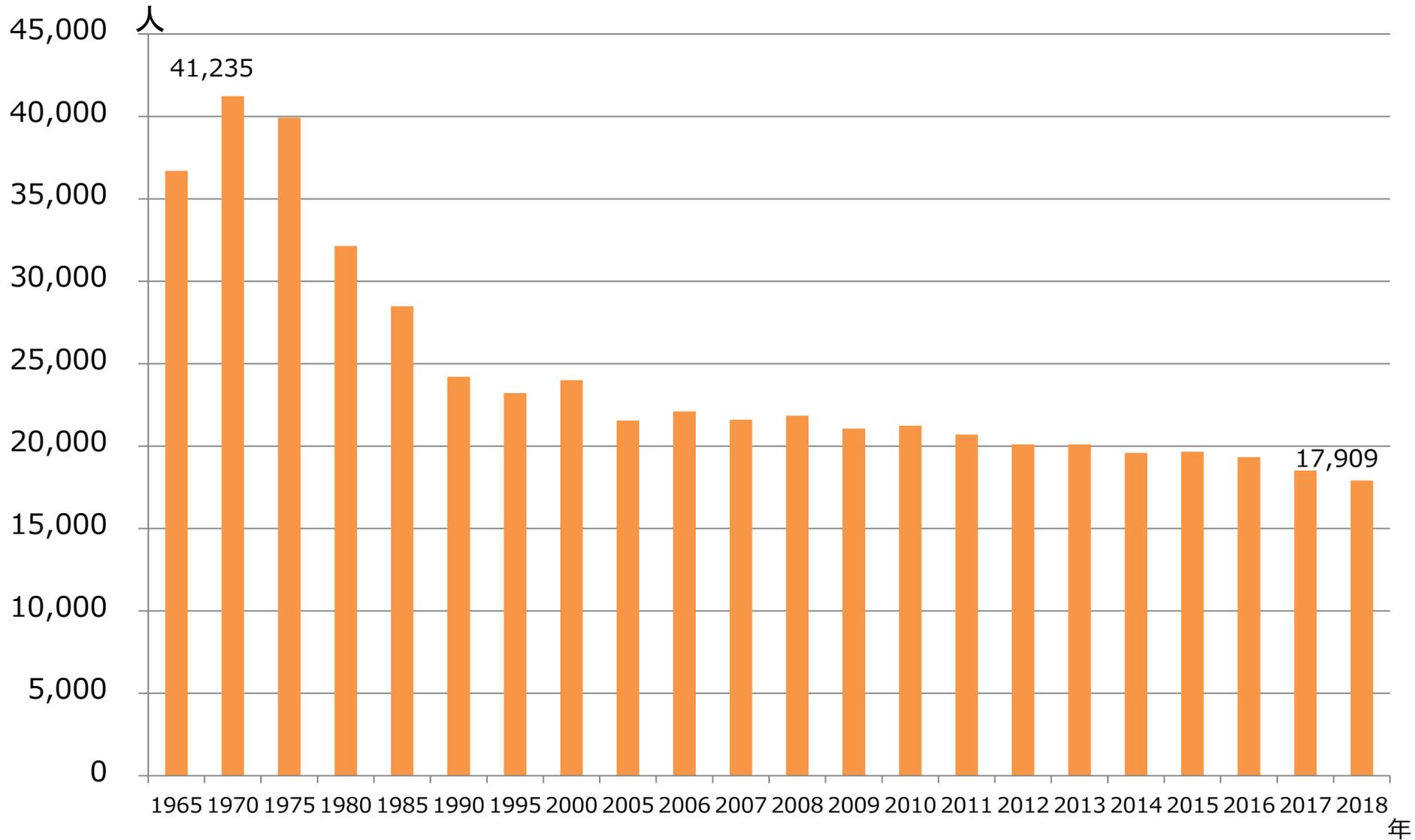
例えば…

- ◆ 職場での「ノー残業デー」
- ◆ 家族揃っての食事
- ◆ 地域での子どもの見守り
- ◆ お父さんの育児参加

「京都で家庭を持ちたい」「京都で子育てをしたい」という想いに満ちた京都にするため、  
府民の皆さんと一緒に、結婚や子育てを応援しています。

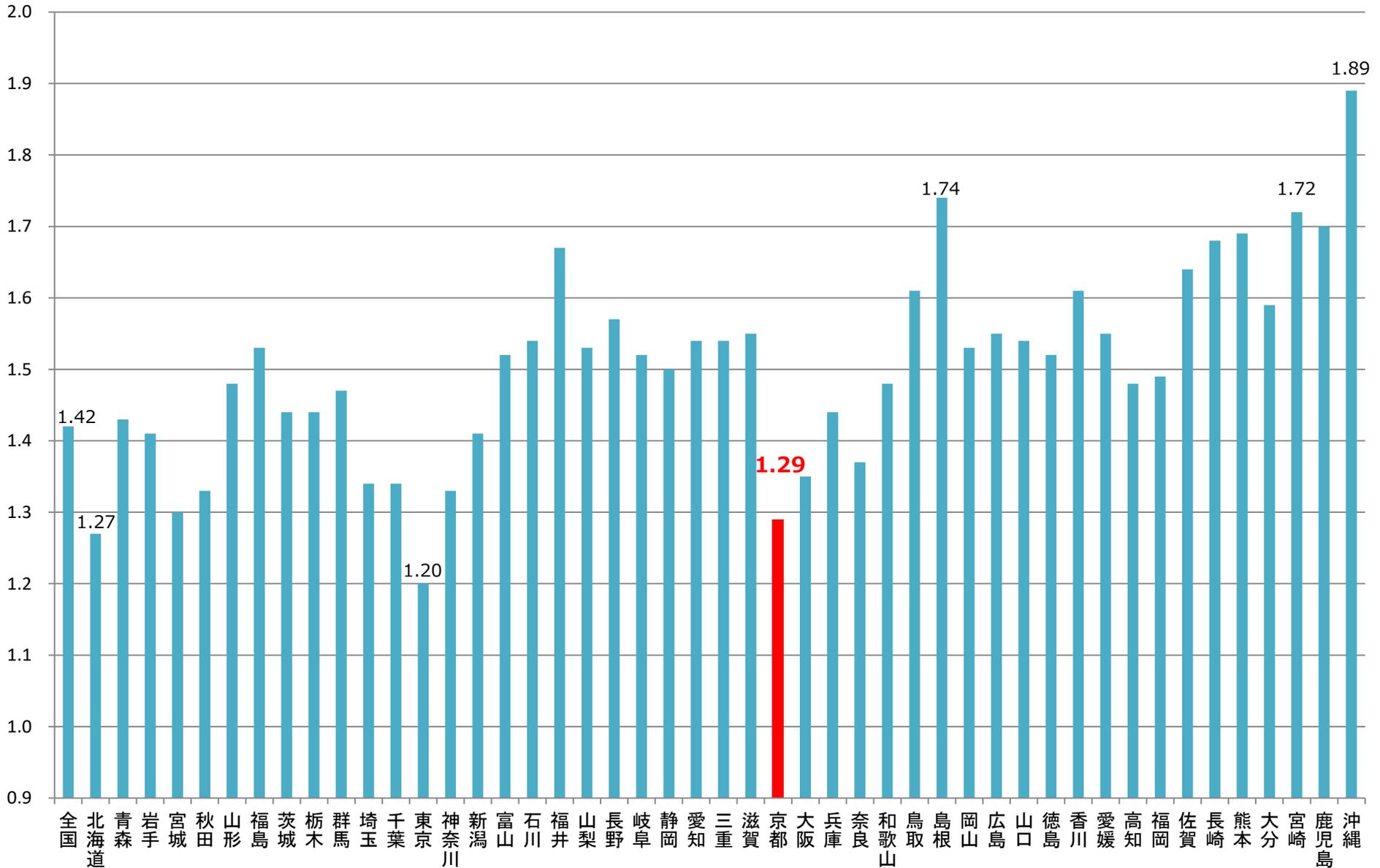
# 関連資料

# 出生数の推移(京都府)



# 合計特殊出生率※(2018年)

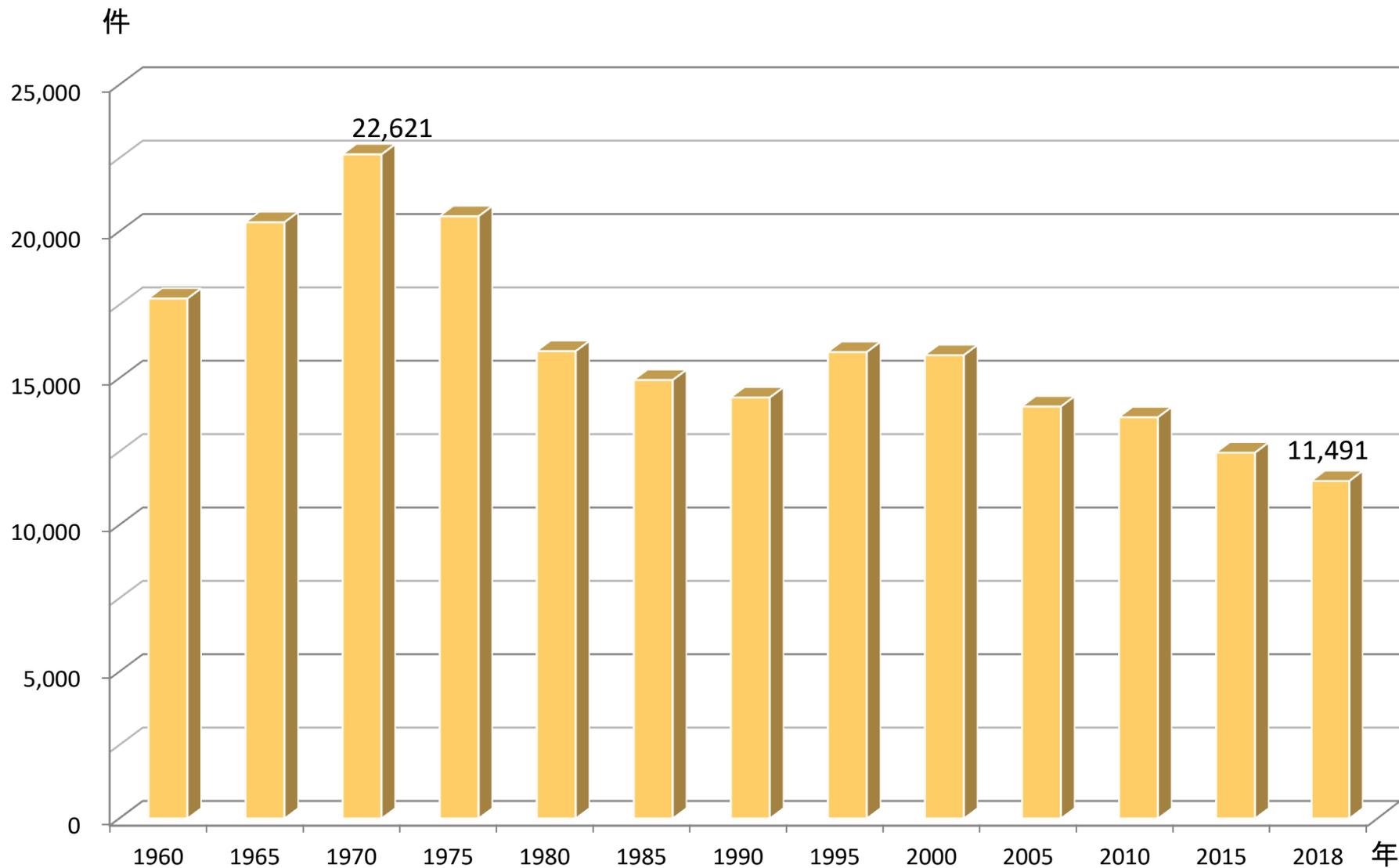
人



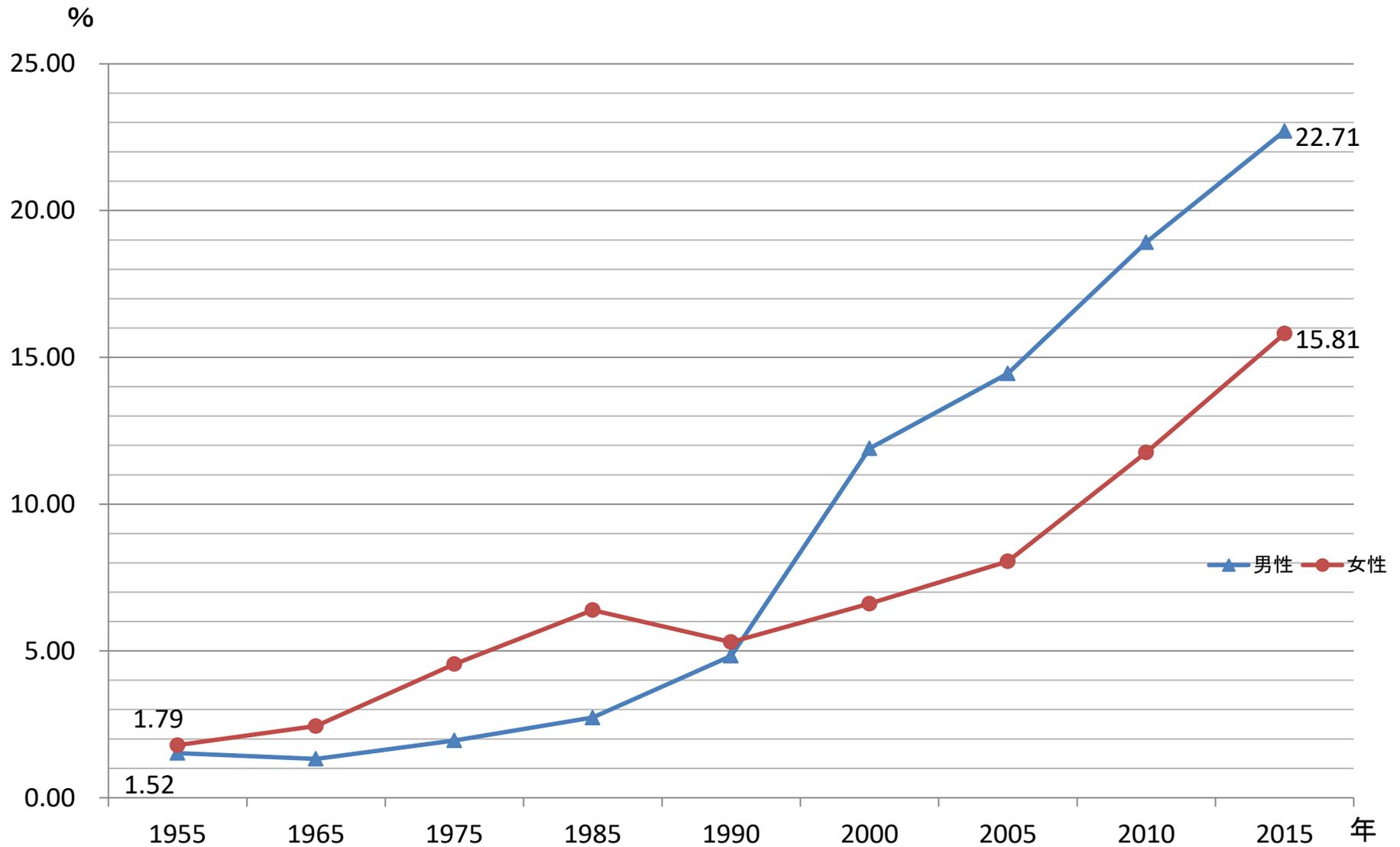
出典：厚生労働省「人口動態調査」

※ 一人の女性(15～49歳)が生涯の間に産むことが見込まれる子どもの数

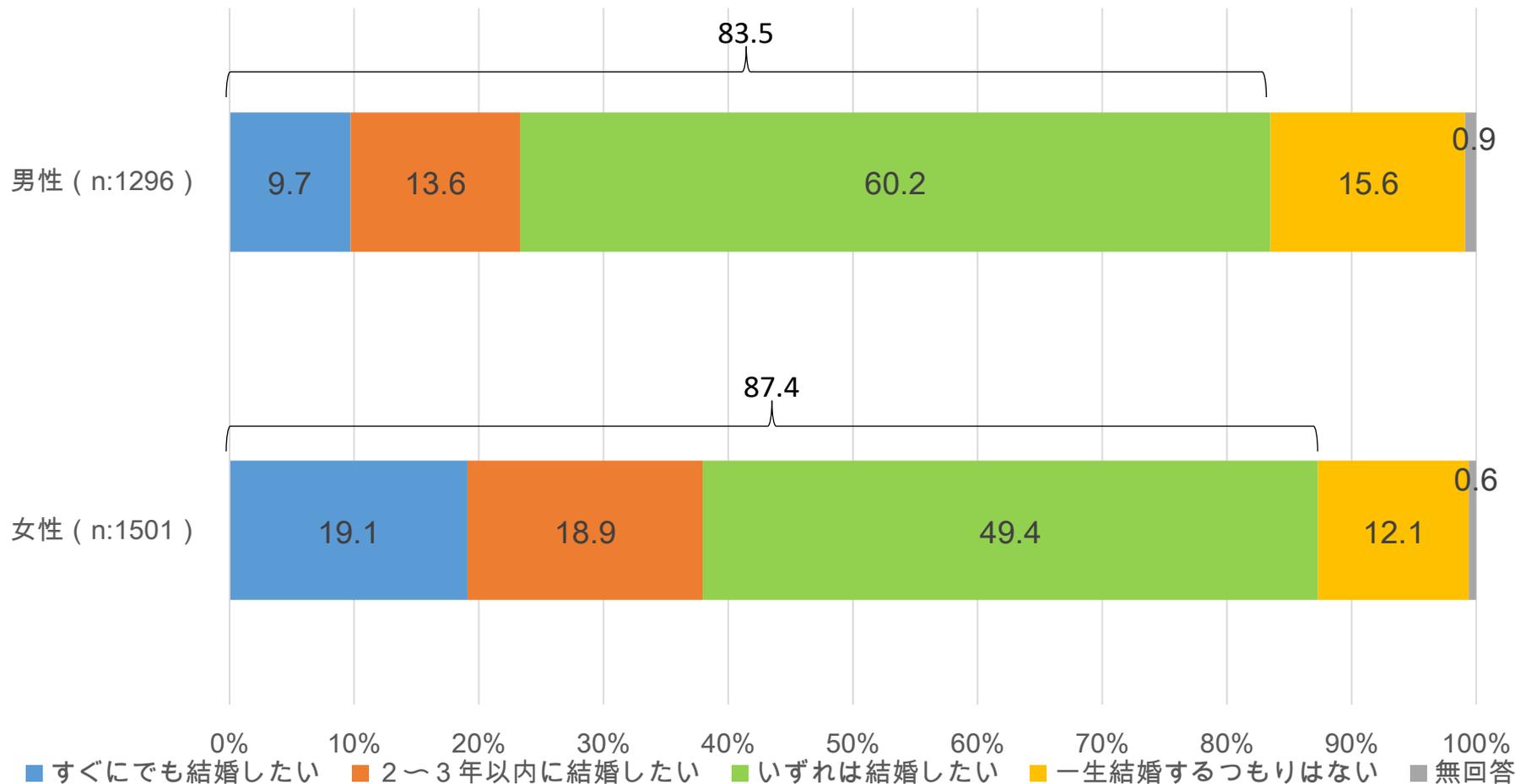
# 婚姻件数の推移(京都府)



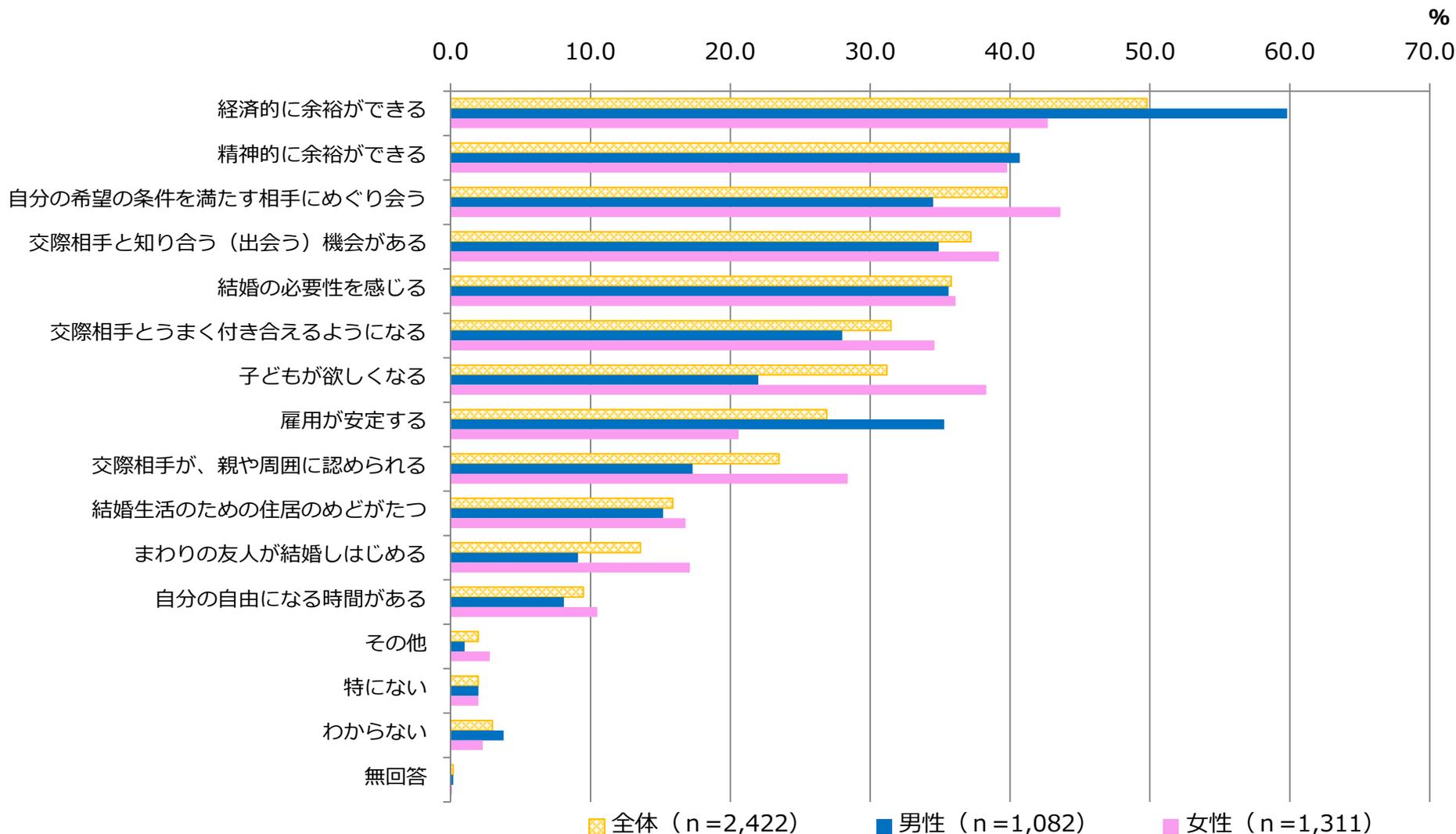
# 50歳時未婚率の推移(京都府)



# 将来結婚したいと思う割合（京都府）



# 結婚を希望する状況(京都府)

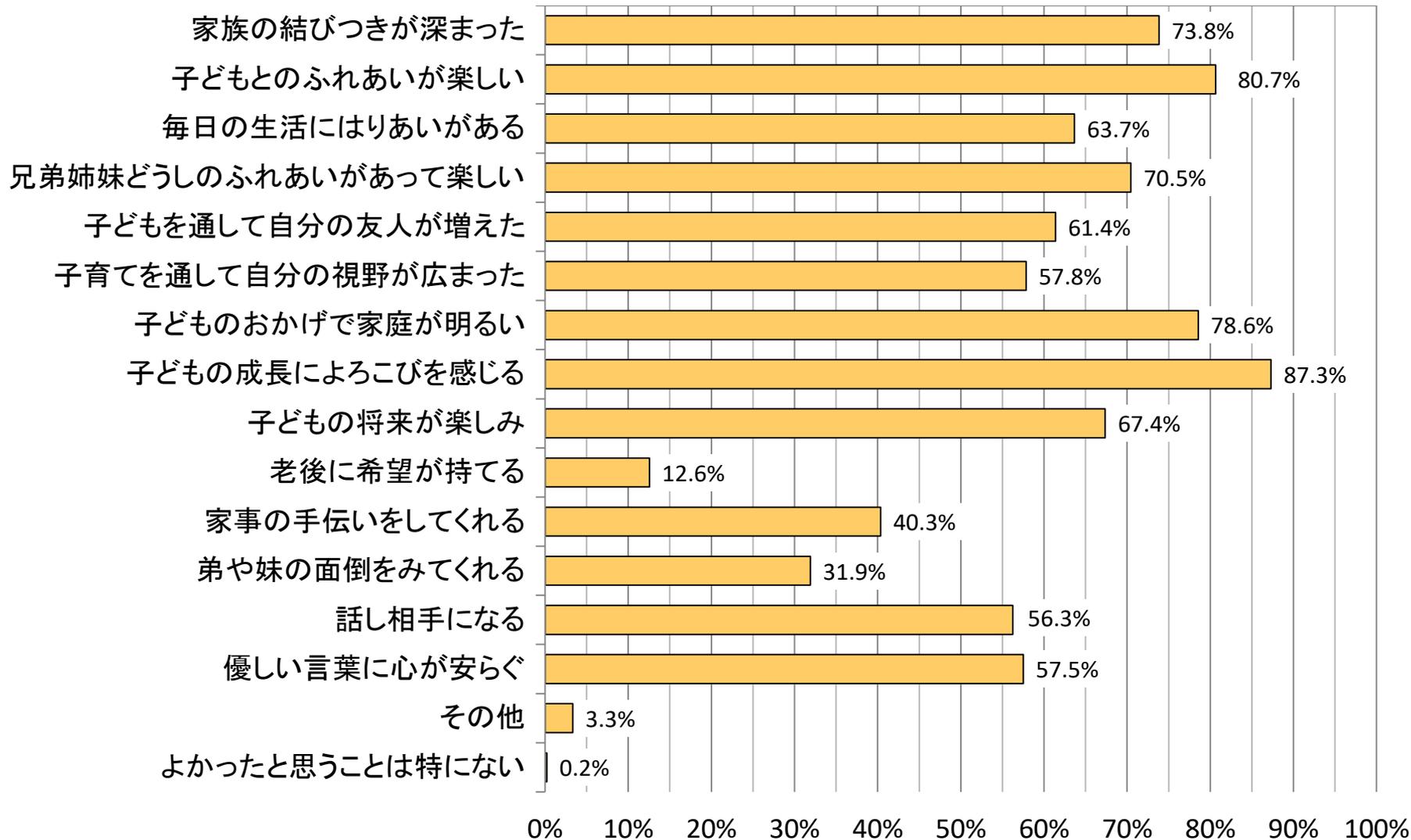


# 理想とする子どもの数(京都府)

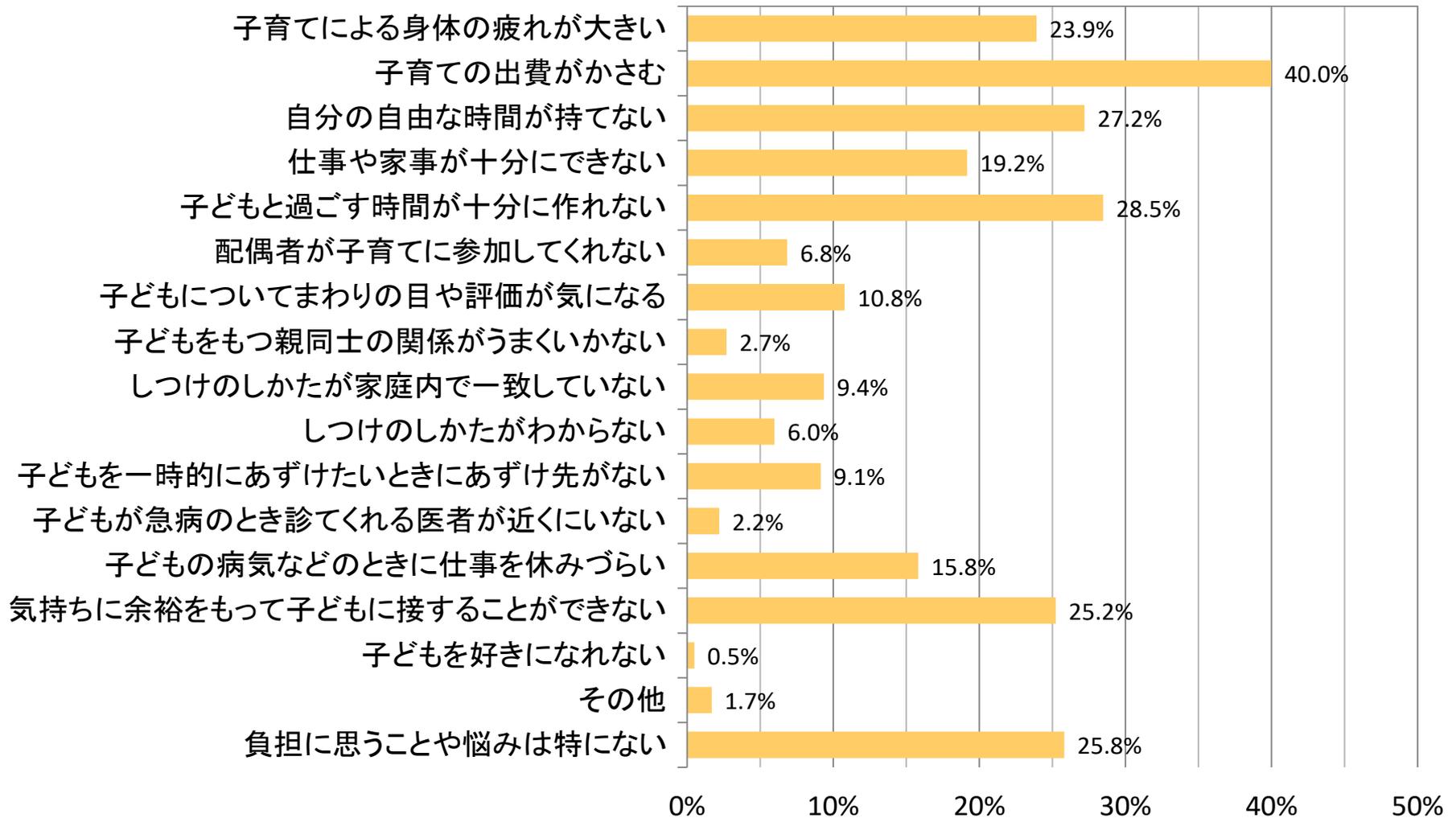
20～44歳の、結婚している方の予定している子ども数と理想の子ども数

|    | 予定（現在の生活から考えている）子ども数 | 理想（条件が許せば持ちたいと考えている）子ども数 |
|----|----------------------|--------------------------|
| 男性 | 2.0人                 | 2.4人                     |
| 女性 | 2.1人                 | 2.5人                     |

# 子どもがいてよかったと思うこと(全国)



# 子どもを育てていて負担に思うことや悩み(全国)



# 休日の夫の家事・育児時間別、 第2子以降出生の状況(全国)

